

花と緑と自然のまちづくり・ニュースレター / No.6

生駒市緑の基本計画推進懇話会は、現在13人のメンバーで活動しています。



発行：生駒市緑の基本計画推進懇話会

発行日：2005.10.29

事務局：花のまちづくりセンターふろーらむ内

お問い合わせ：TEL.0743-70-0187

Eメール：hanamachi@city.ikoma.lg.jp

『ふるさと生駒・花と緑と自然の発見ツアー・第4回』の報告

10月23日午前、約25名の市民が、南部地域の『生駒・里山めぐり』ツアー』に集いました。周辺住民やボランティアグループなどが取り組む“棚田再生”“里山再生”と“生駒の七つ森”の話をお聞きし、参加者一同は生駒の自然と先人たちの深い関わりを再発見することができました。

[西畑での棚田再生活動の見学]



眼下に広がる棚田

- 西畑町では、小雨の降る中「西畑町棚田を守る会」と「いこま棚田クラブ」の方に棚田を案内していただきました。
- 長年放置され、クズや雑木に被われてしてしまった棚田群ですが、地元とボランティアグループによる再生エリアは3年を経て確実に広がっているようです。
- 棚田の間のせせらぎではサワガニも発見できます。



この看板が目印！



みんなで畦道を歩きました

[生駒の七つ森——杜さん——と保護樹木・保護樹林のお話し]



南小の校庭に残る杜さん

- ここでは、保護樹木・保護樹林にも指定されている萩原町の“七つ森”を見学しました。古来、生駒中南部では各集落を囲む7つの杜があり、村の守護神として、近づくことさえも禁じられた場とされてきたとのことです。
- 現代の“杜さん”は、小学校の校庭脇の緑、住宅地の中の緑地として地域の人々に親しまれています。市では「保護樹木・保護樹林制度」を設け、地主さんの申し出を受けてその保全に取り組んでいるとのことです。



住宅地に残る杜さん

[矢田丘陵（里山再生活動の見学）～福祉ゾーン（市街地に残る樹林のお話し）]



竹が群生した自然林



整備された人工林

- 矢田丘陵では、里山再生活動前後で山林活力が違うことを聞きながら、矢田丘陵遊歩道を散策しました。
- 竹の繁殖力は特に強く、放置すると全山が竹林になる恐れもあるとか。里山再生の大切さを再発見・・・。
- 福祉ゾーンから眺める市街地内の樹林は、生駒・矢田の山並みをつなぐ緑の帯として「緑の住宅都市・生駒」に欠かせない緑であることを発見しました。



生駒山の前に広がる市内最大の樹林

ご協力いただいた方々

参加者全員で記念撮影



西畑町棚田を守る会
木下さん



いこま棚田クラブ
川井さん&出口さん



杜さんの説明
日高さん



いこま里山クラブ
海老沢さん



生駒山をバックに（小瀬福祉ゾーンにて）